

第1回さぬき市10周年記念事業実行委員会 会議要旨

- 1 日 時 平成23年6月24日(金) 13時30分～
- 2 場 所 さぬき市役所附属棟多目的室
- 3 出席者 【委員】平野委員 尾崎委員 江崎委員 岩崎委員 細川委員 岡田委員
石原委員 犬伏委員 岡 委員 十川委員 寒川委員 工藤委員
定國委員
- 【事務局】総務部政策課 向井課長外3名
【傍聴】1名
- 4 会議次第 1 開会
2 委嘱状交付
3 市長あいさつ
4 議題
(1) 委員長・副委員長の選任について
(2) 10周年記念事業趣旨及び基本方針について
(3) 10周年記念事業の内容について
(4) 今後のスケジュールについて
(5) 事業等の公募について
5 その他
6 閉会
- 5 配布資料 資料1 さぬき市合併10周年記念事業実施方針(案)
資料2 事業スケジュール(案)
資料3 さぬき市合併10周年記念事業冠事業・提案事業等募集要項(案)
参考 さぬき市合併10周年記念事業キャッチフレーズ募集チラシ
参考 さぬき市合併10周年記念事業マスコットキャラクター募集チラシ
さぬき市合併10周年記念事業実行委員会設置要綱

6 会議内容

発言者	意見概要
事務局	(13:30) 定刻がきたので開会する。原則公開の会議なので、傍聴希望者が来た場合は定員10名まで受け付ける。 委員会に先立ち、大山市長から委員に委嘱状を交付する。
市長	市長が各委員に委嘱状を交付 さぬき市が平成14年4月1日に合併して、丸9年が過ぎた。社会情勢も変化しており、十分取り組めなかった課題もあるが、住民の方の望むさぬき市になるため、これから今まで以上の努力が必要となる。今回の10年の節目を捉え、住民の方の意識を高め、これまでと一味もふた味も違った市政運営を行いたい。 記念事業については、市としてもできるだけ柔軟に対応していきたい。予算の制約はあるが、委員の皆さんに御意見をいただきながら規模は小さくてもキラリと光

	る事業展開を図っていききたい。
事務局	では、議題に入る。議題1「委員長・副委員長の選任について」である。今回が1回目の会なので、委員長等の選任の前に各委員に自己紹介をお願いしたい。
各委員	<自己紹介>
事務局	<事務局担当職員紹介>
事務局	では、委員長・副委員長の選任に移るが、まず、委員長の選任方法はどのようにしたらよいか。
委員	事務局案があればそれでお願いしたい。
事務局	事務局案としては、これまでの経験等を考慮して、十川昭五委員に委員長をお願いするのが適当と考えるが、いかがか。
委員	<賛成>
事務局	賛同を得たので、会長は十川委員にお願いしたい。 続いて、副委員長はいかがするか。
委員	女性委員にお願いしてはどうか。
事務局	女性委員の皆さんいかがか。
委員	経験が浅いため、他の委員さんをお願いしたい。
委員	多忙なため、お引き受けするのは難しい。
委員	尾崎委員を推薦したい。
事務局	尾崎委員推薦の声があるが、いかがか。
委員	<賛成>
事務局	では、十川委員長と尾崎副委員長に就任の挨拶を頂戴し、以後の進行は委員長によるしくお願いしたい。
委員長・副委員長	<挨拶>
委員長	続いて、議題2「10周年記念事業趣旨及び基本方針について」、議題3「10周年記念事業の内容について」、議題4「今後のスケジュールについて」事務局に説明をお願いしたい。
事務局	資料1を使って議題2、3について説明 資料2を使って議題4について説明

委員長	意見・質問があればお願いします。
委員	子ども達の意識啓発についてはどのように考えているのか。
事務局	小中学生を中心とした啓発は様々な形で考えている。1つは、地元で開催するオリブガイナースの試合に子ども達を無料で招待し、参加型の啓発を図る。また、キャッチフレーズやマスコットキャラクターの募集について、市内小中学校にも呼び掛ける。そのほか、実施については未定であるが、作文コンクール等考えている。
委員	地元には、芸術で県展に入選する等有名な人が出ているので、そういう人達を子ども達に知ってもらおうとよいのではないかと。あまりお金をかけずに10年という節目について考えてもらえるようにするのが大事なのではないかと。
委員	資料1に「メディア等を活用して広報啓発を実施する。」とあるが、例えば『NHKのど自慢』やテレビ東京の『なんでも鑑定団』等、10周年の節目にということであれば来てもらいやすくなるのではないかと。
委員	NHKに話を持っていってみたいとはいかがか。
委員	作文の募集時期について、長期休みの前は、作文や絵画の募集等が集中するので、そういうことも考慮に入れて早め早めに手を打つ必要がある。
委員	学校や子どもに過度の負担をかけないようにお願いしなければならない。
委員	負担をかけずに、子ども達にさぬき市の一員であると自覚してもらうためには、高齢者に親切にする等の「お助け隊」を結成してはどうか。幼稚園から高校生までがお揃いのワッペンをつけて活動するものである。県民性なのか、多くの子どもが心では人に親切にしたいと思っても、恥ずかしくてせっかく踏み出した足を引っ込めてしまう。その子ども達の背中を押してあげて、自分もさぬき市の組織の一員だと自覚してもらえるような事業ができたらいいと思う。
事務局	今いただいた意見3点について、今の状況等について事務局から説明させていただく。まず、マスコミの活用として様々な番組を誘致してはどうか、という点については御意見のとおりであり、事務局でも情報収集中である。記念式典の時期が決まれば具体的に動けると考えている。 2点目の子どもに負担をかけずに、という点については、募集時期等工夫をしながらスムーズに進めるよう考えていきたい。3点目のお助け隊のワッペンを作るといふ話については、大変良いことだが、今後さぬき市では記念事業の企画の募集を考えているので、より具体化して提案していただければ、実行委員会の中で話し合えるのでよろしくお願ひしたい。
委員	作文コンクールは小学生が対象なのか。
事務局	まだ詳細は決めていない。作文ではなく、提言を募集して様々な世代の方から御意見をいただくのも1つと考えている。詳細については、本委員会で決めていけたらよい。
委員長	具体的なことは、事業の企画が出てきた段階で審議していきたい。

事務局	<p>時間的なこともあるので、キャッチフレーズとマスコットキャラクターについてはすでに公募をかけている。受付期間が7/1～なので、再度マスコミへの働きかけ等周知を行っていきたい。</p>
委員	<p>キャッチフレーズとは、10周年記念事業の中で使用するものか、今後ずっと使えるものを募集するのか。</p>
事務局	<p>キャッチフレーズについては10周年についてPRするものである。一方、マスコットキャラクターはさぬき市をイメージするものとして今後も使用できる形としたい。</p>
委員	<p>キャッチフレーズもずっと使えるものを考えたらいいのでは。</p> <p>資料1 6 その他で「まちづくり寄附を募って」とあるが、総事業費のどれぐらいの割合にこのまちづくり寄附を充てたいと考えているのか。</p> <p>寄附金は単に任意で集めるのか、キャッチフレーズやマスコットキャラクターを企業も活用できるようにし、その使用料のような形で財源を確保するのか。例えば、年賀状に市のキャラクターを載せ、企業も個人も使用できるようにする等、せっかくキャラクターを作るのだから、寄附を募るだけでなく、何か付加価値を考えてみてはどうか。企業ならば色々なところとやりとりがあるので、会社の封筒にキャラクターのシールを貼る等すれば全国に向けてさぬき市のPRができる。</p> <p>6についてはキャッチフレーズ、キャラクターと絡めてもう少し具体案があった方が動きやすいと思う。</p> <p>またキャッチフレーズについては、今後も使えるものを併せて募集してみてもいいかがか。</p>
事務局	<p>まず、市のキャッチフレーズについては、さぬき市が基本構想を策定した際、基本理念として「自立する都市」、将来像を「人いきいき 親自然・真健康・新創造」とした。時代の流れ、状況の変化に合わせてこの言葉を考え直してはという声もあるが、今回は、10周年の認知度を上げる目的に絞り募集するという意見が庁内で多かったためこういった形としている。ただ、募集する中で、今後のさぬき市像を表したキャッチフレーズが提出されることも考えられるので、よいものがあれば活用させていただけるのではと考えている。</p> <p>もう一つ、寄附金の割当だが、今のところは未知数である。事業が決まればその事業ごとに協賛していただければという議論も出たのだが、まちづくり寄附は税法上の特例措置も受けられることから、この形で1本化することを考えた。寄附を募る方法については、先ほどの御意見を参考にさせていただき、今後具体的に考えていきたい。</p>
委員	<p>寄附金の目標募集金額があれば我々も動きやすい。</p>
事務局	<p>採用される企画によっても総事業費が変わる。総事業費がわかった時点で目標金額を設定したい。</p>
委員長	<p>委員の皆さんも団体に属されている方が多いが、団体ごとというのではなく市全体が1つになって考えることが大事だ。今回確認いただいたスケジュールを念頭に置いてそれぞれの団体でも活動していただければ。</p>
委員	<p>事務局提案の事業スケジュールについては話し合わないのか。</p>

委員長	スケジュールについては、事務局提案に沿った形でよい。
委員	今後の実行委員会の開催の頻度は。
事務局	基本的には2カ月に1回を考えているが、進捗等により頻繁に開催する時期があるかもしれない。
委員	企画の募集についてはどのように周知するのか。
事務局	さぬき市広報、CATVの文字放送、市のホームページで周知するほか、各支所及び公民館に募集要項、チラシ等を置こうと考えている。また、市長も出席する会で10周年について声かけをしており、団体から案を出すという話もいくつか聞こえてきている。
委員	では、委員会では提案のあった企画を審議し、肉付けをするといった作業を行えばよいのか。
事務局	委員会では、作文等の作品や、記念事業の企画を募集するといった事務局案についてよいか悪いか、かつ今日の会議では、企画の募集の方法等についてお聞きいただきたい。
委員長	では、続いて議題5「事業等の公募について」、事務局に説明をお願いしたい。
事務局	資料3を使って議題5について説明
委員	6 申請・提案資格について、イベントの開催場所について記載が無いが、さぬき市外でもかまわないのか。
事務局	さぬき市での開催を想定している。募集条件に開催場所はさぬき市内であることとする旨の記載をする。
委員	全国的には合併10周年のところも多いかもしれないが、香川県ではさぬき市だけだ。 事業には大川広域の積立金等を活用できないか。
事務局	広域に相談を持ちかけてみる。
委員	観光協会の役員会では、観光については、さぬき市限定というのではなく、高松市や東かがわ市も含めた広域で考えなくてはならないという話があった。今回の事業についてもこの考え方を加味していいものかどうか。
事務局	市全体として、他市町との協力、協調はこれからも考えなくてはならないことだが、10周年記念にこのような考えを取り入れるには、観光協会で具体的な企画を出していただき、それが10周年記念事業の趣旨に沿ったものであれば、十分実施できると思うので、ぜひ御提案いただきたい。
委員	今までは、市、観光協会、体育協会、商工会等それぞれの団体が事業を行っていた。10周年記念事業は、各団体が協同して取り組むべきだ。

事務局	事務局でも各団体の協同については推進していきたいが、まずは具体的な企画を御提案いただきたい。
委員	各団体の協同については事務局から働きかけをしないのか。
事務局	まず、アイデアをいただければ、庁内で協議をし、協力できることには積極的に協力する。
委員	事業の企画に対する審議は実行委員会が行うと思うが、事務局はどう関係してくるのか。
委員	団体間の連携について、具体的にどこどこが協同して実施するというのを事務局主導で決めることはできないが、我々が持つ独自のネットワークで団体どうしが声をかけあい企画案を出せば、事務局はその案を実行委員会に持ってくるができるということだ。
事務局	<p>実行委員会では、基本的に提案された企画を審査するのだが、例えば委員会の中で「企画案には無いが、こうすればもっとよくなるのではないか」という案があれば委員会の総意として若干エッセンスを付け加えるということも考えられる。</p> <p>団体の連携についても、アイデアをいただければ、事務局が各団体へ声かけ等協力をすることはやぶさかでないことも申し添える。</p>
委員長	各委員の発言も実行委員会の場合だけに限られたものではないので、直接事務局と話をする機会を設ければいいし、各団体が事務局に相談を持ちかければ、事務局もこの案なら連携の方がいいのでは、と声かけをすることも可能になってくるだろう。
事務局	企画の提案方法として、必要な添付書類や、特に新規事業に関するプレゼンの必要性について等意見はあるか。
委員	プレゼンで説明してもらえば、書面だけの審査よりも応募者の熱意が伝わり、よいと考える。
事務局	では、提案事業については、原則としてプレゼンをお願いする旨を募集要項に掲載する。
委員	募集要項はいつまでに作成するのか。
事務局	7月7日募集開始の予定であるので、7月1日の庁内推進本部会議までには作成する予定だ。
委員	企画書等の様式はどんなものを考えているのか。
事務局	目下作成中だが、チラシはわかりやすくするため1枚にまとめ、募集要項、応募用紙（企画書）とセットにして、支所、公民館、出張所に置かせていただき、市のホームページからもダウンロードできるようにする。
委員	団体に直接郵送はしないのか。

事務局	直接郵送は考えていない。
委員	各マスコミ関係に対する後援依頼については考えているのか。
委員	どのようなイベントをするか決まれば後々考えていくようになるのでは。
委員	事業で収益が上がった場合の補助についての区切りはどうするのか。補助金が翌年に繰り越されることになるとおかしい。募集要項の記載について、10周年の記念事業での収支相償の考えを明記した方がよい。
事務局	資料3 P10 経費の部分で、「事業費から『他の補助金等、入場料及び販売収入などの自主財源』『助成対象外経費』を除いた額を助成」と記載している。ただ、物産展などを行った場合、売り上げの全部を収入とみなして除いてしまうとおかしくなる。例えば、出店料は収入だが、各店の売上は収入に含めない等、収支のとらえ方については、判断を仰ぐことになるが、基本的には事務局も収支相償の考えである。 また、補助金はあくまで10周年記念事業のための経費にのみ使用できるものなので、事務局案では、「取得価格が1万円以上、又は耐用年数が1年以上の物品購入費」は助成対象から除くこととしている。イベントに必要な備品は、ほぼリース等で借りることができるので、対象外としたものである。
委員	要項には、事務局案のとおり記載し、それぞれの経費について助成の対象になるか否かの細かい部分は実行委員会で判断してもよいのではないか。
委員	要項の内容について、もっと柔軟に対応できるようにしては。
事務局	皆さんからの御意見を参考に要項上の表現を工夫する。内訳の適正については、実行委員会の場で審議、決定できる形にする。
委員長	各委員も所属する団体にこの話を持ち帰り、様々な意見を聞いて事務局に伝えていただきたい。 以上で第1回さぬき市10周年記念事業実行委員会を閉会する。(15:45)